

人権のミニ講座が7月20日に開催

ボーカル：森野裕香里さん
滋賀県立盲学校時代に井上さんと出会い、音楽ユニット「わ音」を結成。透き通った歌声に癒されます。

ギター：井上克己さん
難病を抱える井上さんは、難病応援センターを立ち上げ、就労、生活等の支援を行っています。

アンケートより（一部抜粋）

・生まれつき目が見えないことは不便であっても不幸ではないことを感じました。私達の見えないものも彼女には見えているのかと思います。

・森野さんの言葉の中で、自立とは一人で生きるのではなく、頼る方がいて、助け合いこそ生きる道だと話されていて、心に刺さりました。

・なくしたものを数えるより、あるものを数える。本当にそうですね。

ハートマーク

義足や人工関節を使用している方、内部障害や難病の方、妊娠初期の方など、外見で分からなくても援助や配慮を必要とする方々が、周囲の方に知らせることができるマークです。このマークをつけている方がおられたら「何かお手伝いしましょうか」と声かけをお願いします。

八日市地区人権のまちづくり協議会のミニ講座が、7月20日開催されました。

今回は、音楽ユニット「わ音」さんの講演で、『人と人のつながりを大切に』というタイトルで、音楽とお話を聴かせていただきました。

梅雨明け早々の暑い午後にもかかわらず、約80名の参加で会場ホール内も一杯になりました。

井上克己さんと森野裕香里さんの歌声と演奏は、外の熱気を忘れさせてくれるくらい軽やかで清々しく感じられました。

1時間程の時間でしたが、アンコールによる最後の曲まで「わ音」さんの音楽に魅了されました。

川村信蔵

ご家庭のアルバムに昔の八日市が写っていませんか。引き続き昔の八日市を捜しています。八日市コミセンまでご一報ください。

片言隻句
残暑お見舞い申し上げます。お盆休み、ご家族で楽しい時間を過ごされたことと思います。皆さんは国道421号線、近江八幡市と東近江市の丁度境に、八日市6町で管理をしているお墓があるのをご存知でしょうか？時を遡れば戦時中、八日市飛行場の拡張計画があり、その範囲は今の聖徳中学校をも含まれており、校舎前にあった墓地も強制移動となり、その代替地として現在の蒲生野墓地があります。最近の傾向なのですが、権利放棄や墓じまいをされる方が増えてきました。今年実際に有った話ですが、「母の家を整理に来て、墓地管理費のハガキを見つけて電話しました。」この電話一本で、〇〇家のお墓は、次の世代に受け継がれる事となり一安心ですが、まだ連絡の取れないお家が何軒かあります。現在、関わっている八日市6町の墓地委員の方々が、次に必要な情報を集めています。「終活」という言葉を聞いて久しいですが、我が家にも頼んだ覚えのない終活ノートなるものがあります。お持ちの方はその中にも、我が家の墓地はここにありまして、一文を加えておかれればと、何よりご家族が揃った時に、お墓の話もされてはと思います。将来、迷子になるお墓を出さないためにも!!

小谷昌行



八日市まち協だより

みなでつくろう！ようかいちのまち

八日市 コミセンHP 第72号 令和6年8月発行



まちづくり協議会のプラカードで踊りました

聖徳まつり総踊りに参加しました

7月27日に行われた聖徳まつり総踊りに、八日市地区まちづくり協議会で参加しました。チームカラーであるオレンジ色のバンダナで、小さな子どもさんから高齢の方まで約30名の踊り手が、汗を流しながら江州音頭に合わせ踊りました。

その中には、ほんまちホテルに宿泊のフランス人女性も加わり、みんなに合わせて踊ってくれました。日本の夏祭りのひと時を楽しんでもらい、国際交流の一助にもなったと思います。

踊りの後の花火の美しさにも見とれ、聖徳まつりを大いに楽しみました。

浦根悦夫



常連の地元浜野総自治会



金屋は野球チームのプラカードで去年に引き続き参加した



聖徳まつりのファイナーレはやっぱり花火です



東本町総自治会は自治会として初参加でした

清水町いきいき夏まつり（自治会主催）が、7月28日夕方から清水会館前の駐車場広場で行われました。

子どもたちは、夜店定番の出し物をはしごしたり、清水川での「世界最長のヨーヨーつり」や夜店独特の雰囲気親子共々楽しんでいました。先立っての準備は、太陽が照り付ける炎天下でテント張りやテーブル配置、提灯、電気配線など、若い人を中心に協力して設営しました。感謝・感謝。



高嶋芳紀

ヨーヨーつりに中学生がお手伝いに来てくれました。中学生になると地域のつながりが途切れがちですが、お互いが顔見知りになるのはいいことですね。

夏まつりの最後といえばビンゴ大会。この時はやはり、お客さんも役員もビンゴカードに集中。かき氷やほかの店にも中学生がお手伝いに来てくれました。

金屋ふれあいサロン

毎月の最終金曜日の午後、太子ホールで歌にゲームにお喋りに楽しいサロンをしています。



5/24 は歌声サロン。みんなで楽しく歌いました。出演は JIBA さんと楽団ほけっとさん。ちなみに JIBA は「じじいとばあ」の略だそうです。

7/26 には、みんなで楽しくゲームで遊びました。



緑町シニアクラブ

緑町シニアクラブ（サロン）では、毎月第4金曜日に、季節に合わせた催しを開催しています。春には、お花見、カラオケ、花植えなど楽しく活動しました。



春のお花見、カラオケ



まち協の花いっぱいプロジェクトにも取り組んでいます。

「はまのサロン」は地域の人々に支えられて8年目を迎えました。毎月第2木曜日、浜野会館の百畳大広間は、健康寿命延伸を目指して「元気な声と笑顔」が一杯です。



令和6年1月18日獅子舞鑑賞

はまのサロン

八日市地区内6総自治会には、それぞれ高齢者サロンがあり、いろいろな活動をされています。9月の敬老月間を控え、それらのいくつかを紹介します。

清水いかだサロン

清水いかだサロンは設立して15年。初めての試みとして、7/1に近江鉄道のシルバーパスを利用し、八日市～米原を往復しました。車内はみんなの笑顔とおしゃべりでとっても楽しそう。



八日市へ戻ってからは、八日市駅前観光交流施設「SunnySpot+」でアフターヌーンティーをいただきました。



とんとん茶〜くる

東本町のサロンは、その名も「とんとん茶〜くる」と言います。60歳以上の方を対象に、地域のふれあいを目指し、皆様の元気な顔を見ることができるのが何よりの幸せと活動をしています。今年で11年目になりました。



4月は社会福祉協議会から健康体操の指導を受けました。



7月には駅前交番から防犯研修に来ていただきました。

八日市町のサロン

八日市町のサロンは、男性の皇美麻サロンと女性の八日市ひだまりサロンに分かれて活動しています。

皇美麻サロンは平成28年から活動を開始、約20人のメンバーで月2回さまざまな活動をしています。最近では4/26に安土城址へのサイクリング&ハイキング、7/5にはめぐみ保育園・ひだまりサロン合同で七夕まつりを行いました。



安土城址へのサイクリング&ハイキング



めぐみ保育園園児たちとの七夕まつり



両サロン合同のイベントも。7月23日にはソーマン流しを企画しましたが、コロナの流行で断念、個別にいただきました。



七夕飾りづくり



結構むずかしいスカットボール

あれやこれや 其の二十八 元号（漢字の考察）の巻

元号は古代中国で始まり、東アジア諸国へ伝播した。だが、現在では日本のみが踏襲する。日本の元号は、大化の改新で有名な[大化]から[令和]まで248回を数える。一方、天皇は神武天皇以来、令和の天皇まで126代と元号数が大きく上回る。平成改元時に改訂された元号法により、皇位の継承があった場合のみ改元することになったが、以前は代始改元の他にも吉兆の出現時、災異の長期化時にも改元が繰り返された。248回の元号について、使用された漢字を数えてみる。元号は通常2字の漢字から成る。だが、奈良時代に4漢字の元号の時期が5回あったので、元号を構成する漢字数は(248×2+5×2)=506字である。しかし、実際の使用は73字のみである。

元号に使用された漢字を考察することで元号候補を推察してみよう。「元号選定手続」でいう「良い意味を持ち、読みやすく、書きやすい」漢字は極めて限定的で、同じ漢字を繰り返し使われた事による。1度だけの使用は31字で、繰り返し使用は42字で下記に使用が集中する。()内は使用回数
永(29)元(27)天(27)治(21)応(20)和(20)正(19)長(19)文(19)

さらに繰り返し使用された42字について、使用が上字か下字かに区分して、使用回数順に再整理する。また、文章表現の洋式化につれ、明治以降の元号をアルファベット1字で略記する利便性を考慮し、上字で特定行（マ行明治のM、タ行大正のT、サ行昭和のS、ハ行平成のH、ラ行令和のR）の頭文字で始まる漢字を除外する。

この結果、使用回数10回以上は上字7字、下字9字であった。

上字：永(16)、文(15)、元(15)、寛(14)、延(12)、嘉(11)、康(10)

下字：和(19)、治(18)、暦(14)、徳(14)、永(13)、応(13)、安(12)、保(12)、元(11)

この上字7字×下字9字の63種の組合せから、元号は二度使いしないので、41種を使用済み、2種を同一漢字の重複として除外し、20種の候補に絞り込む。(候補の下は上下字合計使用回数)

[延和31][延治30][嘉和30][永応27][文徳29][永安28][嘉治28][永元28][寛暦28][文元27][元安27][元保27][寛応27][寛安27][延永25][嘉徳25][延安24][延保24][康徳24][嘉安23]

元号決定で使用回数の多い漢字の組合せが有利なのは理解出来るが、元号決定上、さらに重要な要素が未採用元号である。選考対象となったが、選考途中で採用されなかったもので、改元の度、発生し今では500以上が累積する。

因みに、江戸時代初めの[慶長]以来、[令和]まで40回の改元があったが、その内、32回は未採用元号でその比率は実に8割である。

未採用回数順に次のとおり列記する。(候補の次は未採用回数)

[嘉徳40][寛安33][建正26][大応24][文長24][貞正22][文承20][政和18][嘉延17][文仁17][永安16][延祚16][文元15][和元14]

使用回数順、未採用順両方に重複する最終候補は下記の4候補であった。

[嘉徳](25-40) [寛安](26-33) [永安](28-16) [文元](27-15)

元号には、あとひとつ出典という必要条件がある。各元号の出処を明確にするもので、過去は全て漢籍（中国の古典）であったが、[令和]改元時に初めて和書（万葉集）を出典とした。これが今後の元号にどのような影響を与えるか不明であるが、多用漢字の傾向も変わり、多大な影響力を持つ未採用元号もお役御免になるかもしれない。いずれにしても改元の議論は、天皇の崩御が前提条件になるため、ややともすればタブー視される傾向にあるが、改廃を含めた幅広い議論が必要であろう。

森野吉雄さん

令和6年度オープニングマジックショー